



寺 報

# ともしび

第 163号  
27. 4. 5  
発行 大性寺  
ともしび文庫  
Tel 36-3062  
携 帯  
09088606426

## 春の永代経法要

四月二十五日 (土)

正午～ おとき

午後一時二十分～ お勤め

二時～ 法話

ご講師 本願寺派布教使

巖后 範之 師

\*式章・経本をご持参下さい。

\*ご家族そろってお齋をいただきます

法要にお参り下さい。

### 春、桜の花 蓮如上人のご遺言

蓮如上人最晩年の頃、弟子の空善が吉野より桜を取り寄せ、慰めにと庭に植えられた。そこへ上人の不例を聞いて集まった門徒衆に三首の詩を詠じられました。

さきつづく 花みるたびに なほもまた

いとねがはしき 西のかのきし

(咲き続ける花を見るたびに、なおいつそう

かの浄土の岸が願わしくなることです)

形見には 六字の御名を 残しおく

なからむ跡は たれもとなへよ

(自分の形見としては、南無阿弥陀仏の六字のお名号を残しておきましょう。私の亡き後は、誰もがこれをと覚えてください)

なき跡に われをわすれぬ ものあらば

ただみだたのむ こころおこせよ

(私なきあとに、もしも私のことを忘れぬ者がいたならば、

そういう人はただ阿弥陀仏をたのむ心を起こしてください)

はじめの詩は、この世界で見る花さえも美しいのに、

法蔵願力によって顕現された浄土はどんなに美しいこと

とであろうかと、浄土を思つて詠まれた詩でしょう。

後の二首は、残されるお同行方への遺言とも言えます。

先人の方々の遺言、願いを、永代経法要をとおして聞かせていただきますよう。

### 黒野組「お聴聞のつどい」開催

表記の「つどい」は親鸞聖人七五〇回大遠忌法要を迎えるに

あたり、ご門主さまが黒野組へご巡教されましたことを記念して、毎年開催されております。今年もまた次の様に開催されますので、おひとりでも多くご参加ください。

・ 期日 六月六日 (土)

・ 場所 岐阜別院 香光殿

・ 時間 昼座 午後二時～

夜座 午後六時三十分～

講師 天岸 浄圓 師

大阪・西光寺住職 本願寺輔教

◎申込先 四月十五日までに大性寺 (三六・三〇六二)

\*懇志として五〇〇円ご進納ください

## 法統継承を仏祖の御前に奉告

専如ご門主は、御正忌報恩講ご満座後、「伝灯奉告法要についての消息」を發布された。伝灯奉告法要は、ご門主が法統を継承されたことを仏祖の御前に奉告する法要。

## 伝灯奉告法要についての消息

去る平成二十六年六月六日、前門主の跡を承けて法統を継承し、本願寺住職ならびに浄土真宗本願寺派門主として務めてまいりました。ここに法統継承を仏祖の御前に奉告いたしますとともに、あわせて本願念仏のご法義の隆盛と宗門の充実発展とを期して、平成二十八年および二十九年に、伝灯奉告法要をお勤めすることになりました。

阿弥陀如来のご本願は、あらゆる存在を分け隔てなくそのまま救おうとはたらきかけていてくださいます。迷いと苦悩をかかえる私たちは、阿弥陀如来のお慈悲ひとすじにこの身を任せ、真実のさとりの世界であるお浄土に生まれていくべき身にならせていただきます。宗祖親鸞聖人が「そらごとたわごと」とお示しくくださった私たち自身を含む迷いの世界は、何一つとしてたよりになるものはありませんが、ご本願のはたらきの中に生きる私たちは、確かな依りどころを持つことができます。

科学技術の発達による便利で豊かな生活の追求や欲望の肥大化はとどまることを知りませんが、人々は、そのような豊かさのみを追求することの虚しさに気づきはじめる

たのではないでしようか。しかも、核家族化・人口の流動化などによって社会構造は大きく変化し、人間関係は希薄となり新たな悩みや不安を生み出しています。さらに世界に眼を移せば、武力紛争、経済格差、気候変動、核物質の拡散など、人類の生存に関わる課題が露呈しています。これらの傾向は今後一層強くなっていくことと

思います。

私たちは、凡愚のまま撰め取って捨てないとはたらき続けていくくださる阿弥陀如来のお慈悲を聞信させていただき、その有り難さ尊さを一人でも多くの方に伝えることが大切です。それとともに仏智に教え導かれて生きる念仏者として、山積する現代社会の多くの課題に積極的に取り組んでいく必要があります。まさにこのような営みの先にこそ、「自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」道が拓かれていくのでありますよう。

このたびのご法要が、親鸞聖人によって明らかにされた阿弥陀如来の救いのはたらきに依りながら、時代の変化に対応する宗門の新たな第一歩として意義を持つものでありたいと思います。宗門では、親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年に向けて新たな長期計画が策定されます。皆様の積極的なご協力とご参画を心から念願いたします。

● お知らせ

☆八月二十七日(木) 仏婦初参式 盆会

今年、六月二十七日(土)に予定しておりました

仏婦初参式・降誕会を中止させていただきます、

八月二十七日(木)に仏婦初参式・盆会として法要を勤めさせていただきます。尚、当日は本願寺布教使課程布教実習を兼ねて、布教を志す方々の布教を聴聞します。

右記に伴い、八月に予定しておりました「念仏講」を六月二十七日(土)に行ないますので、お誘いあわせのうえ是非ともご参加ください。

\*六月二十七日(土)・集合 十一時三十分

念仏講 昼食 十二時

・お勤め 法話 十三時

・茶話会 十四時

・解散 十五時頃

\*会費 五百円 \*当番はありません

昼食の準備がありますので、二十五日までに申込連絡を大性寺(三六・三〇六二)までお願いします。皆さま、お誘いあわせのうえ是非ともご参加下さい。

\*八月二十七日(木)

仏婦初参式・盆会

(詳細は次号にてお知らせします。)

ともしび会

会費 二百円

◇ お茶

四月 二十日(月)・・・午後一時半より

五月 十一日(月)・お花見会 午前十一時より

六月 八日(月)・・・午後一時半より

◇ ダーナお花畑

四月 八日(水) 午後三時より

五月 十三日(水) 午後三時より

六月 十日(水) 午後三時より

みなんでお花畑を、花いっぱいにしましょう。

◇ お花見会

五月十一日(月) 午前十一時より三時まで

お花を見ながら、お茶会、昼食の後ビンゴゲームを楽しみましょう。参加費は五〇〇円です。

参加希望の方は五月十日までにご連絡下さい。また、送迎を希望される方は、お電話

(三六―三〇六二)下さい。

# 時鐘

☆ 除夜の鐘には、来ていただいた方と焚き火を囲み、おでんを食べながら、ご恩の鐘をつきました。

☆ 元旦には、皆さまお参りになられ、にぎやかに新年を迎えさせていただきました。

☆ 一月二十七日、前々坊守を偲ぶ会には二十四名の方に参加いただき、読経の後、昼食・思い出の写真やビデオを観て、ビンゴゲームで前々坊守きみの形見分けを楽しみました。

☆ 二月二十三日、黒野組仏婦役員会が、あお山で開催され、江尾康子さん、牧野尚美さんが参加しました。

☆ 三月二十七日、仏婦総会・本山参拝旅行が行なわれました。三十二名の方が参加され、京都嵐山や角坊にも参拝しました。

☆ 二月二十七日念仏講が行われました。

☆ 一月、二月、三月の椿野苑ボランテアに、宇野倭香子さん、宇野英子さんが行っていただけました。

☆ 一月、二月、三月のグリーンポートボランテアに川島節子さん、佐野喜久枝さん、白木道子さん、川島美保子さん、佐村やよいさん、牧野仁子さんが行っていただけました。

## 楽しかった本山参拝旅行！

三月二十七日、仏教婦人会は三十二名の参加者のもと、好天にも恵まれて嵐山（昼食）↓角坊（親鸞聖人往生の地）↓ご本山参拝・拝観の日程で、仏教婦人会総会を兼ねての親睦旅行でした。

嵐山の桜はまだつぼみでしたが、昼食は京都おぼんざいのバイキングで、みんな満腹でした。帰りには、お土産もいっぱい楽しい一日を過ごしました。

### お浄土へ

法名 釋江珠

岡田 二二江 様 八十二歳 一月 一日

法名 釋尼妙乘

藤井 和子 様 八十六歳 一月 八日

法名 安詳院釋輝絹

小田 きぬ子 様 九十二歳 一月 十二日

法名 釋浄岸

川島 とめ子 様 七十八歳 三月 十九日

右の方がご逝去されました。

生前のご苦勞を偲び、哀悼の意を表します。